

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第64号 〔2014年6月号〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第64号をお送りします。

当会は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次>

スタディツアー参加者追加募集！

メソトマンスリー

国内から

国際保健医療協力のなかで （26）

編集後記

次号の予定



スタディーツアー参加者追加募集！

スタディーツアー追加募集のお知らせです。
まだ、もう少し席にゆとりがありますので参加者を追加募集します。
参加を検討している方、参加を迷われている方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

申し込み締め切り：6月23日（月）

募集人数：若干名

なお、タイの情勢に関して、タイ現地スタッフと連携をとり、状況把握に努めています。

現段階で渡航に関して問題はありません。

◆日程は **8 / 4 (月) ~ 8 / 9 (土)** の **6日間**です。

◆ **JAMの日本人スタッフがバンコクからの全行程に同行**するので、海外が初めての方でも大丈夫。

◆ 「**JAMのスタディーツアーのここがおススメ！**」

- ☆ 難民キャンプ・難民診療所に行ける
- ☆ ミャンマー人難民の生活。現状を知れる
- ☆ 国際保健関連のワークショップに参加できる
- ☆ ノーベル平和賞候補にもなったシンシア医師のお話が聞ける
- ☆ NGOで働く日本女子の生の声を現地で聞ける

などなど、JAMでは参加者の皆様が楽しめるようスタディーツアーを企画しています。
国際保健・移民難民に興味のある皆様の参加をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

以下募集要項をご参照ください。

2014年度メータオ・クリニック支援の会主催 スタディーツアー 参加者募集要項

～タイ/ミャンマー(ビルマ)国境、移民・難民の生活を肌で感じる旅～

みなさんはタイ・ミャンマー国境に多くのミャンマー人の移民・難民が暮らしていることを知っていますか？

JAMのスタディーツアーでは普段なかなか訪問することが出来ない、難民診療所や難民キャンプを訪問します。国境の町、メソト(MAESOT)で移民・難民の医療・教育・生活を見て感じて考える旅にあなたも参加してみませんか？

ノーベル平和賞候補にもなった避難民の為に診療所(メータオ・クリニック)のシンシア院長との会談や、JICA長期専門家などで途上国の地域保健・学校保健で活動し、現在は琉球大学・国際地域保健学教室の教授であり、JAM代表でもある小林潤医師による国際保健入門



ワークショップを企画しています。さらに JAM から派遣されている現地駐在の看護師スタッフとの座談会も予定しています。

ミャンマー／ビルマ難民、移民の保健・医療の問題に関心のある方は、是非この機会にご参加ください。

■ 日時：2014年8月4日（月）～8月9日（土） 5泊6日
（バンコク、スワンナプーム空港集合、解散）

■ 参加費：80,000 円

*参加費にはバンコクからメソトへの移動費（飛行機を利用します）、現地メソト移動費、宿泊代、難民キャンプ訪問代、コーディネート代、現地での朝食費用は参加費に含まれています。

昼食、夕食代は現地にて徴収させていただきます。（目安；1日約1000円/人）

バンコクまでの航空運賃、現地でのお土産代、飲酒代、その他個人的な支出などは含みません。

■ 対象：JAM 賛助会員

非会員の方は、賛助会員になることが条件となります。

賛助会員費として、一般3,650円、学生1,825円が必要になります。

詳しくは JAM のホームページをご覧ください。

■ 定員：15名（応募多数の場合は先着順、催行人数8名以下の場合は中止となります。）

■ 申込締切：2014年6月23日（月）

■ お申込方法：

・以下を明記の上、申込みする旨をメールで support@japanmaetao.org（担当：佐藤）へお送り下さい。

メールタイトル 「2014年スタディーツアー申込み」

- (1) 氏名
- (2) 住所（都道府県のみで結構です）
- (3) 年齢
- (4) 職業
- (5) その他ご希望があれば記載してください。

バンコクまでの飛行機は各自で手配をお願いします。東京より当会スタッフと一緒に飛行機の便をご希望の方は、その旨もお書き添え下さい。

お申込メールを確認後、こちらより正式な申込書類を添付したメールをお返しいたしますので、その書類に記入、押印のうえ、郵送にてお送りいただくこととなります。この書類が正式な申込書となります。



■ 日程・内容

日にち(曜日)	時間帯	旅程
8月4日(月)	08:00	バンコク スワンナプーム空港集合
	08:30	バンコク・スワンナプーム空港発 メソトへ移動
	12:00	道中にて昼食
	17:00	メソト着 <u>国境の橋・国境マーケット訪問</u> タイとビルマの国境に架かる橋へご案内します。 向こう岸のビルマの様子もご覧いただけます。
	18:00	ホテルへチェックイン
	19:00	夕食会
8月5日(火)	8:30	<u>メータオ・クリニック訪問</u> JAM現地スタッフとともに、クリニックの内部を見学し、JAMの現地での活動についてご説明します。
	10:30	<u>シンシア医師との座談会</u> シンシア医師に国境のクリニックの現状について伺います。
	12:00	昼食
	13:00	<u>ワークショップ</u> JAMの小林潤代表による国際保健の入門ワークショップを開催します。
	17:00	ホテル着
	18:00	夕食
8月6日(水)	8:30	<u>移民学校 Hope School 訪問</u> メータオ・クリニックとJAMが支援している農村地域にある移民学校を訪問します。
	13:00	メソト市内にて昼食
	15:00	<u>ゴミ集積所に暮らす人々の地域を訪問</u> ゴミ集積所を住まいとし、運び込まれるゴミ集め売ることによって生計を立てている地域を訪問します。
	17:00	ホテル着
	19:00	夕食
8月7日(木)	終日	<u>自由行動</u> 国境の人々の日常に触れる事が出来ます。 市内観光、ビルマ・マーケットなどが楽しめます。
8月8日(金)	終日	<u>難民キャンプ訪問</u> ※メラキャンプまたはウンピャンキャンプ 日本が難民として受け入れたカレン民族の住んでいるキャンプです。
	18:30	夕食
8月9日(土)	9:00	<u>振り返り・感想・まとめ</u> 旅に関する質問をし、国境での最新の変化などを含め討議します。この座談を通して国境の現状の理解を深める事が出来ます。
	11:00	メソト出発
	12:30	昼食
	19:00	スワンナプーム空港着、解散



- 宿泊 : メソト市内のホテルに宿泊します。
移動 : 現地メソトでは、すべて専用のマイクロバスでの移動となります。
食事 : 参加者の皆様の好みに合わせて調節いたします。アレルギーや香辛料等苦手なものがある方はお申し出ください。

■ 留意点

○学生または未成年の方へ

保護者同意書の提出が必要となります。別紙「保護者同意書」に必要事項を記入し、必ずご提出下さい。提出できない場合は、ツアーの参加ができなくなりますのでご注意ください。

○持病のある方、治療中の方、その他体調に問題のある方へ

申込の前に必ずかかりつけの医師にご相談下さい。また現在、内服または自己注射等で治療中の方は、申込書にその旨ご記入下さい。状況により医師の診断書をご提出のうえご参加いただく場合や、やむを得ずツアーの参加をお断りさせていただく場合があります。現地では日本と同等の医療を受けることが困難であり、また思わぬ緊急事態によって帰国が延期された場合など、病状の悪化や治療中断の恐れがあることをご理解下さい。ご熟慮のうえお申込みいただきますようお願い申し上げます。

○ツアー開催時タイは雨期で、メータオ・クリニックの位置する地域は特に雨の多い場所です。雨具および長袖の衣類をご持参いただきますようお願いいたします。

○現地はマラリアの流行地ではありませんので予防内服は必要ありません。しかしデング熱は特に雨期に多発しております。虫除けには十分ご注意ください。

○予防接種として特に必須なものはありませんが、感染のリスクはありますので、A型肝炎、狂犬病、破傷風などのワクチン接種につきましては各個人の判断での接種をお願いいたします。夜間の外出は極力控えるようにしてください。

○全日程に、JAM スタッフ（日本人）が同行します。

○海外傷害保険への申し込みはツアー参加の条件とします。参加費には保険代金は含まれませんので、渡航までに各自でご加入ください。申し込み先、保険の内容は問いません。参加者の安全についてはJAMの同行者が最善の注意を払いますが、ツアー期間中に事故、盗難、病気などが発生した場合、その補償はすべて参加者が加入する旅行保険でカバーさせていただきます。

○宿泊はすべて一人部屋をご用意します。ツインルームをご希望の参加者様は事前にお申し出ください。その場合は一人部屋との差額を現地でお返しします。

○スケジュールは、2014年5月現在のものです。現地交通状況、視察施設の諸事情などにより予告なく内容および訪問順序が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

○参加費の一部は、JAMの活動資金に使わせていただきます。

■ 問い合わせ

メータオ・クリニック支援の会 担当：佐藤



Eメール：support@japanmaetao.org
ご質問等ありましたら、佐藤までメールにてお気軽にお問い合わせください。
皆様のご参加お待ちしております。

メソトマンスリー



【メソト=田畑 彩生】

メソトも雨期の始まり…

メソトに今年は少し遅めの雨期が始まりました。



朝から降る雨、重たい空の雲、稲光、カゲロウがたくさん飛んで足に当たり、顔に当たりで大騒ぎです。

この季節は、畑作の季節。緑が待ちに待った水をたくさん吸い込んで生き活きとしています。CDC校の近くの水田にもたくさんの苗が植えられました。夕立で美しいミャンマーの空に沈む夕陽は見られませんが、新クリニックの敷地内にクローバーの美しい群生を見付けました。

「あ！四葉見付けた！」

と思って駆け寄ると

眼下のクローバーが全部四ツ葉な事に気付き、思わず息をのみました。

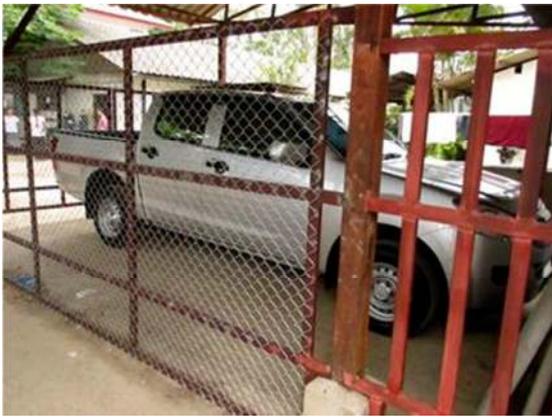


元気いっぱいによきによき生えて、どんどん広がっていきます。幸せを呼ぶと言われる四葉のクローバー、どうかこの国境の地にたくさんの希望が広がります様に。

日本も梅雨の最中でしょうか…じめじめとした日本の雨期、どうぞ皆様ご無理の有りません様、お身体ご自愛下さい。



クリニックの年次報告書に日本からの支援団体が 増えました！



先日、日本政府からの支援金により、患者搬送用の車両が届きました。

日本製の車にいささか興奮気味なスタッフたち。
クリニックのロゴと日本政府のロゴを車に貼り、磨き上げます。

「JAM のロゴも貼る？この車は JAM がメータオに運んでくれたと思っているんだ。たくさんの方が乗れる様に、幌を後ろのトラック部分にも付けないとね。」

なんと移送部門のマネージャーより嬉しいお言葉。

「ありがとう、JAM の日本からのお友だちを乗せて時々走ってもらっただけで十分です。一緒にドライブしましょうね！」そんな会話を交わし笑います。車、いつも大切に磨いてくれてありがとう。

欧米の多くの団体が国境からミャンマー国内へと去っていく中、皆さまの継続的な応援によりメータオ・クリニックと日本の橋渡しが進んでいる事を実感しております。アジアの先進国のひとつである日本の応援を日々感じながら現地で活動をさせて頂け、嬉しく感じています。ありがとうございます。

昨年のメータオ・クリニック支援団体一覧には、日本からの支援団体は、当会のロゴだけでした。

しかし、今年より日本政府の支援がメータオ・クリニックへと届いた証として、政府の ODA のロゴが掲載される事となりました。

これからも発展的に、日本からメータオ・クリニックへ官民連携の支援事業などが JAM を通して着実につながっていく事を願ってやみません。

この様なメータオ・クリニックと日本の皆さんのつながりが、これからも長く続いていくことを願い、活動に励んでいきます。これからも、メータオ・クリニックへのご支援をよろしく願いいたします。



国境の変化は、「非常に前向きな変化。」で有り続けて欲しい…

この7月に発行される予定のクリニック年次報告書のデータによると、メータオ・クリニックを訪れる患者数は、2013年は減少していました。

それは、ミャンマー国内の地域保健の担い手研修や伝統的産婆への再教育などメータオ・クリニックなどが行う研修事業が効を評し、ミャンマー国内での地域保健ポストの導入が進んでいる事や産前産後の妊産婦の検診やケアが地域でも充実して来た事などがあげられています。

この動きをクリニックのシンシア先生やターウィン先生たちは、「非常に前向きな変化。」と表現しています。

また、2014年1月からタイで始まった、移民労働者とその家族の為の保険制度により、タイの公的病院施設へ 30THB で受診が可能となる動きが少しずつ始まっています。メータオ・クリニックを受診する患者数は、今後も減り続けるかもしれません。

しかし、この前向きな変化の一方で、タイ国軍クーデターによる長引く夜間外出禁止令や特別措置法などにより、ドキュメントを持たない移民の家族が取り締まられ、住居が取り壊され、人々が警察に逮捕されるという話もこの1週間の内に増加している様に耳にします。実際に、メソトでも10人以上の移民の人々が家を追われ、この一週間を留置所で寝泊まりをしていると聞きます。ゴミの地域に住む人々も危険にさらされているとし、不法移民の労働者の人々に関して緊急的な措置を要するとし、本日も他団体NGOを含めた会議が開催されました。

「国境の変化は、前向きな変化で有り続けて欲しい。」

良い動きにも悪い動きにも敏感に繊細になる国境の様子。タイ国軍のクーデターを受け少しずつ緊張感が増す国境の動き、まだまだ目が離せません。

国内から

【長野=秋山 剛】

当会の理事をさせていただいております秋山です。

現在、長野県にある看護大学で講師として働いています。会員の皆様とはあまりお目にかかる機会がありませんが、設立当初は、ご寄付下さった皆様へのご連絡やお礼のメールでの対応等も担当したことがありました。皆様からいただいた、あたたかいご支援に日々、感謝しております。

実はこの3月までケニアにある、日本の長崎大学の拠点で働いていまして半年ほど現地に滞在していました。その前は沖縄の琉球大学に研究員として3年ほど所属していました。沖縄、ケニア、長野と移動と引っ越しを重ね、やっと今、落ち着いてきたところです。

今の職場では、担当している講義（疫学、統計、情報処理などを担当しています）の準備がなかなか大変で、学生が興味をもってくれるように日々頭を悩ましています。このほか1年生84人ほどの学年顧問になっており、いってみれば担任ですので、まずは一人ひとりの顔



と名前が一致するように努めています。

もともと東南アジアの社会や文化には興味があり、それが JAM に入った一つの理由でもありました。半年滞在していたケニアでは、アジアとはまったく違う社会の有様を見ることができました。短い期間ですがアフリカに滞在するという貴重な経験ができたことは大変有意義なもので、機会を与えてくださった関係各位、とくに JAM の代表をされている小林先生に感謝しております。

現地ではナイロビから車で7-8時間かかる、ビクトリア湖沿岸のビタという町に主に滞在し、ときどき所用のため、ナイロビに移動しホテルに泊まるという生活を続けていました。JAM に引き続き、ケニアで学童の健康や、学校保健にかかわる活動が中心で、現地の公立、私立学校あわせてビタ周辺およそ 100 学校を対象にし、状況の把握に努めました。学校に行くと学生が無邪気で、挨拶も元気にしてくれるのですが、当地は HIV/AIDS の感染がケニアでも特に深刻な地域と言われており、孤児も少なくありません。親族や祖父母に引き取られることとなりますが、家庭状況のほか、経済的に恵まれない場合があり妊娠、早期結婚、児童労働などの問題を抱えていることが多いのは悩みの種です。

ケニアの学校保健については、保健省、教育省で国としての政策があり、行く前に資料を見る機会がありましたが、アジアのもの比べ、より子供や女性の人権が強調されていることに気が付きました。さて、実際いってみると、やはりこれには、前述したような妊娠や児童労働といった事情があることを痛感しました。こういった学校だけでなく、その周りのコミュニティや住民の考え方や社会状況にまつわる問題に対して私にどれほどのことが出来るかわかりませんが少しでもお役に立ちたいと考えております。

実はケニアは非常に学歴社会で、まずは小学校の卒業試験の成績でその後の人生が決まるといってもよい状況です。その1回の試験の成績の点数で、中学校に進学できるかも決まりますので、学生や教師も定期試験に非常に気にしますし、学生は夜おそくまで学校に残って勉強します。ある学校の朝礼では、定期試験の成績がよかった子供だけでなく、最下位の学生も、生徒全員の前で、名前を呼びだされていました。

一方で私がこれまで付き合いが長い、国境地帯のビルマ人移民学校は、タイでの教育制度上の位置づけや卒業資格は不確かなものです。しかし、移民労働者として、外で働かなければならない保護者や移民コミュニティにとって安心して子供をまかせられる存在だとは思いますが。一口に学校といっても世界的にはそのあり方は様々で、その土地なり、その時期なりの大切な機能を担っていると思います。これからも、そういった良い面を伸ばすような方向で手伝っていけたら、と日々考えています。

国際保健医療協力のなかで (26)

【東京＝小林 潤】



WHO（世界保健機構）総会が終了した。

このなかで次の国連開発目標（MDG）となる 2015 年以降の保健分野の内容について合意形成がなされた。感染症や母子保健にならんで、生活習慣病、メンタルヘルス、顧みられない熱帯病が疾患として注目があてられることになった。これらは 2010 年頃から世界中で各会議・機関で討議されてきた内容が、まとまったわけである。



特にメンタルヘルスに日が当たったのは、大きな前進だろう。「開発途上国の人々は貧しいが、たくましく楽しく生きている。私達はこれらに大きな力をもらいました」という内容の日本人の感想文があふれている。しかし、開発途上国の精神疾患の状況は全く明らかにされていないのが現実である。タイの僻地農村部では自殺が増えている。ロシアではアルコール中毒が社会問題である。国が急に発展した場合、多くの個人はそれとの周りの環境とのギャップは強く感じられるのは現実だろう。そのギャップは健康にも大きく影響するのではないかと考えている。ミャンマーは急速な政治・経済システムの変革がおきて急速な経済成長が進むだろう。しかしながら一方で、これは富めるものと富めないものの社会のギャップを作り出していくことは容易に想像できる。

もう一つ注目すべきことが次期開発目標として合意形成され、記されることになった。個人の登録を強化して人口動態統計を重要視することである。難民や移民は、個人の登録がないために基本的な人権とそれによる公的サービスが受けられないことは大きな問題であった。まして難民として国外にでてきた彼女らから生まれてきた子供は、どこの国にも登録されない。第3国に動くにしても、難民問題が解決して帰るにも登録がないことによって、公的なサービスは受けられないだけでなく、どの国境もこえられないことになる。このことは保健医療関係者では重要視されながら、他セクターとの協力が不可欠で対応が遅れてきたことの一つである。ここで新たに国連開発目標として個人の登録が強化されることが明記されることは、その重要性が多くの分野の人、多くの機関、多くの国が認識することになる。

難民はタイ・ミャンマー国境だけではない。ソマリア難民、シリア難民、難民は世界で今日も国境を越えている。そして登録制度が強化される、この恩恵は難民だけに留まらないだろう。多くの貧困・僻地にはどこにも登録されない人がいるかもしれない。本当に、生まれつきの障害を抱えている子供や精神疾患を抱えた人は途上国には少ないのだろうか、隠されてしまっているのではないだろうか。

編集後記

サッカーのワールドカップが開幕しました。

私は、サッカーのルールはわからないのですが、長谷部選手のファンなので出てくれるといいなあと思っています。内田選手もイケメンだなあと思うのですが、長谷部選手の雰囲気がいいなあと思っています。長谷部選手が出ているときは見えています。(特に試合終了後のインタビューや特集番組など)

でも、けがの調子があまりよくないみたいなので気がかりです。

次号の予定

次号は、7月中～下旬ごろ配信の予定です。

ホームページは、随時更新していきますので お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。

支援の輪が広がっていくよう、ぜひ、当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツ



